

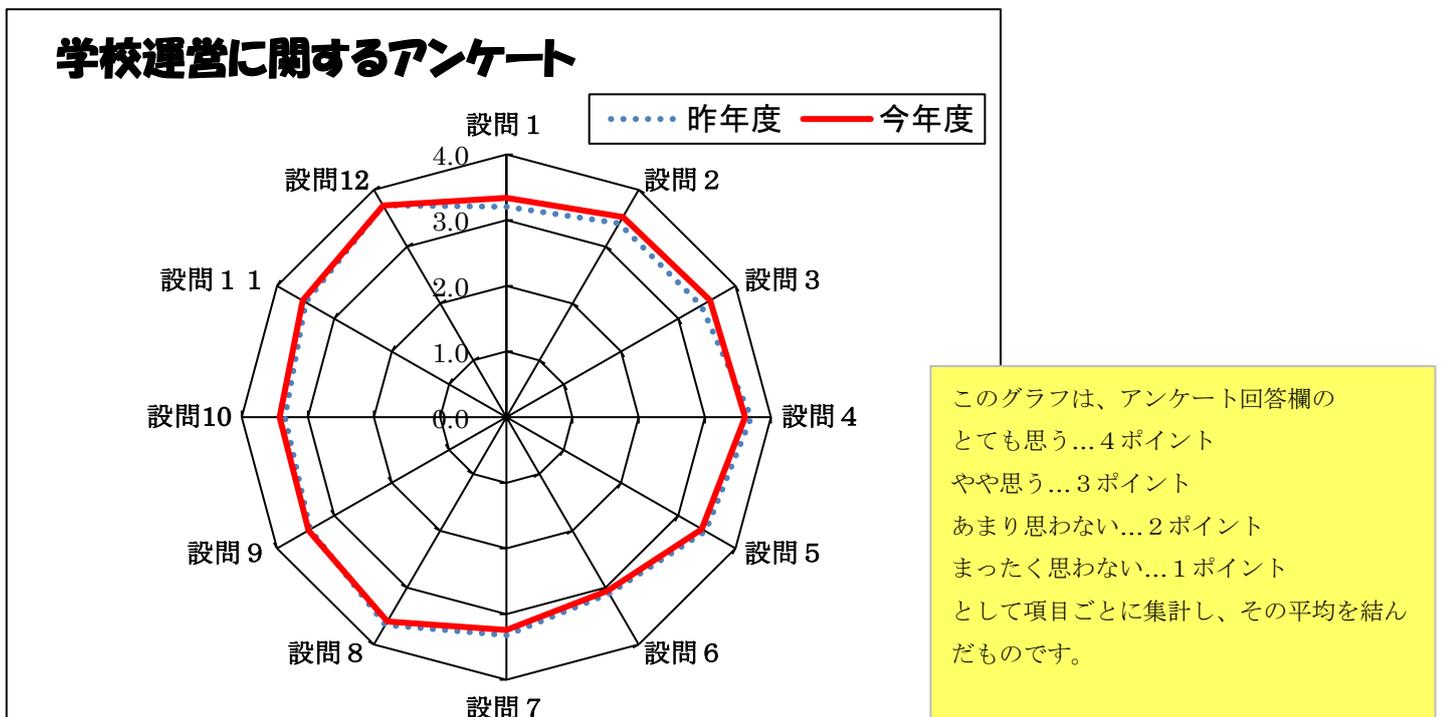
学校運営等に関するアンケートのまとめについて

早春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和元年度の学校運営等に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。学校運営アンケートにつきましては、全児童185名のうち159名分(85.9%)の保護者の皆様からお応えいただきました。結果をまとめましたのでお知らせいたします。

【学校運営に関するアンケート】

- 設問1 学校は、今年度の学校教育目標「心豊かに たくましく生き抜く子どもの育成」や教育方針をわかりやすく伝えている。
- 設問2 学校は、児童とともに4つの合言葉「あいさつ・あんぜん・ありがとう・あなたらしさ」に取り組み、人を思いやる心や感謝の心など児童の豊かな心の育成に取り組んでいる。
- 設問3 学校は、教育活動（地域学習・体験学習・授業改善・行事など）を工夫し、児童のコミュニケーションの能力を高め、たくましく生き抜く力の育成に取り組んでいる。
- 設問4 お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っている。
- 設問5 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。
- 設問6 お子さんは、家できちんと勉強をしている。
- 設問7 お子さんは、『おだわらっ子の約束』にある「早寝、早起き、朝ご飯」の約束をしっかりと守っている。
- 設問8 学校は、お子さんが頑張ったことやできたことについて、ほめたり認めたりしている。
- 設問9 学校は、子どもや保護者の思いや願いを受け止めながら、子ども一人ひとりに応じた相談を行っている。
- 設問10 学校は、施設設備面での安全対策や環境整備を十分に行っている。
- 設問11 学校は、保護者や地域と連携しながら学校運営を行っている。
- 設問12 学校は、学習している内容や取り組みの様子などを学校だよりや学年・学級懇談会、学年・学級通信などで伝えている。



◇学校運営に関する保護者アンケート調査から 【集約結果】

- ① 全体的に集計グラフ上、肯定的な回答の平均3ポイント以上の結果となりました。設問2, 3, 4, 8, 11, 12では、3.5ポイントをこえ、おおむねよい傾向が見られます。
- ② 12「学校からの情報発信」は、昨年度同様高い評価です。4「学校に行くのは楽しい」8「頑張りをはめる」は、高い評価ですが、昨年よりわずかに評価が下がっています。
- ③ 昨年度と比べると同じような傾向ですが、4項目で結果が上昇しました。特に0.1ポイント以上上昇したのは、1「学校教育目標や教育方針の発信」です。そのほか、9「子供一人ひとりに応じた相談」10「施設設備面」11「保護者や地域と連携」が上昇しました。
- ④ 6「家庭学習」については、肯定的な回答の割合が1番低く家庭学習の取組に対しては、課題があります。

アンケート結果から「学校教育目標や教育方針の発信」は、9割の保護者の方が肯定的な評価です。これまでの「学校からの情報発信」の成果であり、「4つのあのことば」の取り組みや教育活動にご理解をいただいたのではないかと考えます。

【地域学習・体験学習などの教育活動】

保護者のコメントでは、「体験学習で職場体験やキッズニアに行けたことは良い経験だと思う。」「作物を育てる体験がすばらしい。」等賛同の意見が多数寄せられました。3年生以上で行われている総合的な学習の取り組みやその中の体験学習、学年に応じた校外学習、さらには各学年で行われている栽培活動等、児童の思考を大切に学習の学びを組み立て、取り組みを発信することを大切にしてきました。今後もつきたい力や学習のねらいを明確にし、児童にとって有意義なものになるように工夫していきます。

【がんばりをほめる・子供一人ひとりに応じた相談】

「先生が子供たち一人ひとりにしっかり向き合ってくださっていたので、安心して送り出すことができた。」「先生が子供に対してよく見てくれていると思う。」等、肯定的なコメントが多数寄せられています。今後も、いろいろな場面で一人ひとりを肯定的にとらえ、声かけを行ったり、日ごろの児童の様子を注意深く観察したりしながら一人ひとりの思いを丁寧に汲み取り、その児童に応じた対応をしていく努力を全職員で行っていきたくと考えます。きめ細やかな対応を引き続き努力していきます。

【学校施設面】

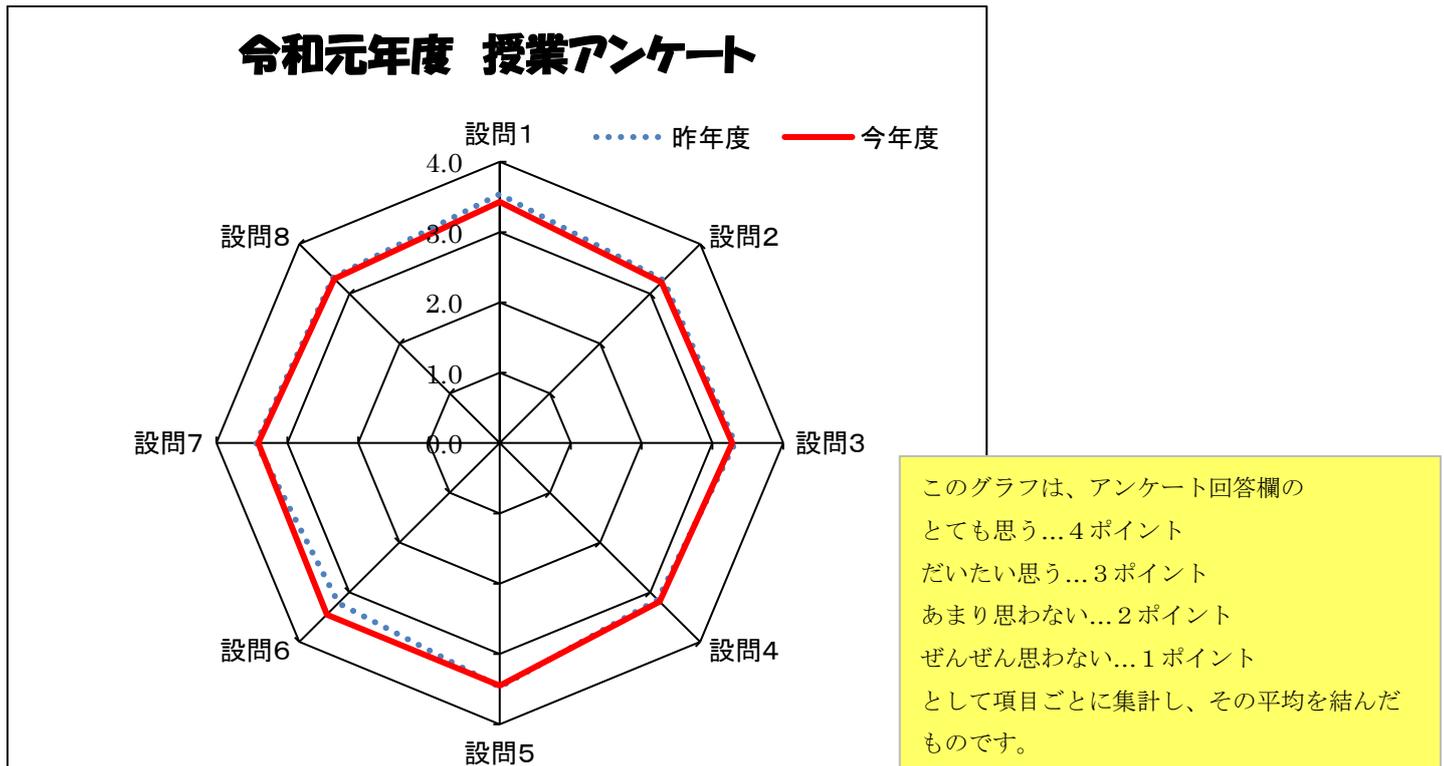
今年度教室にエアコンが設置され、夏の暑い時期に稼働し、児童が快適に過ごすことができました。また、防災対策としてPTAが、ヘルメットを購入し、本部役員を中心に工夫して取り付けをしてくださいました。いざというときの児童の安全面にご尽力いただいたことは、保護者の方の安心・安全につながったと思われまます。

【家庭学習】

家庭学習は、学習内容の定着や発展学習、主体的な学習態度の育成など学力向上のために有効です。家庭学習の進め方や課題の出し方は、担任が工夫していますが、PTAが作った「家庭学習の手引き」を紹介したり、懇談会で話題にしたりしていきたいと思ひます。また、ご家庭でも家での過ごし方や時間の使い方についてお子さんと話し合うなど、家庭での学習習慣が身に付くようにご協力をお願いします。

【授業に関するアンケート】

- 設問1 授業のめあてがはっきりしている。
 設問2 あなたは、授業に楽しく取り組んでいる。
 設問3 授業では、考えることをたくさんしている。
 設問4 クラスのみんなは、あなたの話や発表をよく聞いている。
 設問5 授業の内容が分かる。
 設問6 授業のときの約束が、決まっている。
 設問7 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれる。
 設問8 先生は、自分を認めてくれる。



◇授業に関するアンケート調査から 【集約結果】

- ①全体としては、児童はすべての設問で、3.2ポイント以上であり、おおむね満足しています。
- ②昨年度と比べて、設問6「授業の約束」については、0.2ポイント上昇しています。設問1「授業のめあて」は、高いポイントですが、0.1ポイント下がっています。その他の設問は、昨年度とほぼ同じような傾向です。
- ③設問1・5・6・7は、高いポイントですが、設問4「話や発表を聞いている。」は、昨年度よりわずかに上昇していますが1番低いです。

全体的にどの項目も8割が肯定的な評価です。

【授業のめあてがはっきりしている・授業の約束が決まっている】

9割以上の児童が肯定的な評価です。規律ある中で、どんな学習をするのか見通しをもちながら落ち着いて学習が進められていると言えます。

授業の約束の中では、話の聞き方、発言の仕方等も含まれ、各クラスで指導をしていますが、「自分の発言を聞いてもらえていない。」と否定的な思いをもっている児童もいます。自分の考えをもち、それを自分の言葉で発信し、みんなで考え吟味し、よりよいものをめざす活動は、学習の場面だけでなく学校生活においても大切な活動になります。温かい聞き方、友達に考えを伝えられる分かりやすい話し方を指導するとともに、お互いを認め合うことを基盤にした人間関係づくりや温かいクラスの雰囲気づくりを大切にして、今後も指導していきます。

【楽しい・わかる授業】

児童の学校生活の多くの時間は授業です。「どの子にもわかる喜び」「できた喜び」「授業に参加する楽しさ」「学ぶ楽しさや面白さ」が感じられるような授業を創り出す教師の働きが大切になってきます。授業を充実したものにするによって児童の学習に対する意欲や喜び、学力を高めることができます。学校では、校内の研究会を充実させ、教員同士が授業を見合ったり教育委員会の指導主事から指導を受けたりして授業改善を図っています。今後も児童にとってわかりやすい授業になるように努めてまいります。

◇今後の取り組み「重点目標」

1 学校教育目標や教育方針を共有し、地域とともにある学校づくりの推進

学校だより「きりのほ」や学級だより、学校ホームページなどを通して保護者や地域の方にできるだけ情報を発信します。また、今年度の「学校運営に関するアンケート」の結果を受け、次年度の学校の教育方針や教育活動について学校運営協議会で話し合い、保護者や地域の方に周知してまいります。そして、学習参観、学習発表会や学校行事等の学校公開日を設定し、参観を呼びかけます。今後も多くの方々に、ご理解ご協力をいただきながら地域とともに歩む学校づくりに取り組みます。

「地域に出る、地域を知る、地域と関わる、地域を呼ぶ」学習として、今年度もなかよし班による「朝のあいさつ運動」を行いました。「まちたんけん」や「職場体験」等での地域の方々との交流や学年に応じた校外学習等も行ってきました。

来年度も、地域とともにある学校づくりとして、このような活動を継続していきたいと思えます。

2 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と周知

次年度は、新学習指導要領の完全実施となります。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視します。一つひとつの知識がつながり、「わかった。面白い。」と思える授業に。見通しをもって粘り強く取り組む力がつくように。周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に。自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業になるよう、より一層の授業改善に取り組んでいきます。今後も児童のがんばったことやできたことについて、さらに褒めたり認めたりという声かけができるよう、努めていきます。

新学習指導要領のポイントや評価について、保護者の皆様に周知を図ってまいります。

3 さらに教育相談支援体制の充実と周知

「一人ひとりに応じた相談」については、個に応じた支援体制に取り組んでいます。今後も教育相談コーディネーターや養護教諭、中学校区のスクールカウンセラー、特別支援教育相談室「あおぞら」、通級指導教室「フレンド」「ことばの教室」などを活用した、教育相談支援体制をさらに充実させていくよう努め、様々な機会をとらえて紹介し周知を図ってまいります。また、児童の困り感や保護者の心配・不安等については、早期にキャッチできるように努め、継続的な相談ができるようつなげていきたいと思えます。

4 学校の施設・環境の整備

今年度、エアコンの設置、教職員トイレの改修が行われたことは大変有難いことでした。しかし、校舎の老朽化も進んでいます。校舎施設の改修等について小田原市へ要求していくことは、今後も続けていきます。

また、校舎内外の美化活動などPTA活動や職員作業等でできることは、積極的に取り組んでいきます。保護者の皆様もぜひご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※保護者の皆様には、アンケートにご協力いただき心から感謝申し上げます。保護者の皆様の声をしっかり受け止め、次年度の学校運営の推進に生かしてまいりたいと思えます。